



7. 故障かなと思ったら

まず、下記事項をご確認ください。本器は絶対に分解しないでください。修理は販売店または弊社にご相談ください。

| 症 状 | 点検箇所 | 対処方法 |
|---------|------------------------|--|
| 電気が流れない | 出力ランプは点灯していますか？ | ・電源スイッチの入れ忘れがあります。本器底面の電源を  または  に合わせ、電源をONにします。 |
| | 電源の残量はありますか？ | ・電池およびバッテリー残量を確認してください。(新しいものと入れ替えてみると、確認が容易です)。 |
| | 本器と柵がきちんと接続されていますか？ | ・各ケーブルの土に間違いがないか、また本器にしっかりと接続されているか確認してください。 ・フェンスクリップやケーブル先端のワニ口クリップが、電気柵ワイヤーをきちんと挟んでいるか確認してください。(アースも同様)。 |
| ショックが弱い | 電源残量は十分ですか？ | ・電源残量が少なくなると、通電パルス間隔が長く(遅く)なり、ショックも小さく(弱く)なります。2ページの電源交換のめやすを参考に、定期的に電源のチェック、交換をしてください。 |
| | 漏電箇所はありませんか？ | ・6ページの「起こりやすい漏電箇所」を参考に、柵の見回りをして、問題を解消してください。 |
| | アースが不足していませんか？ | ・アースが十分でないと電気柵の効果が軽減してしまいます。アースはすべて地中へ打ち込んでください。 ・砂利、砂、堆肥場ではアース不良となりやすいため、アースを追加するか、湿った場所に移動してください。 ・アース確認方法に沿って、アースを確認してください(総合カタログ「アース」のページを参照ください)。 |
| | 柵の延長距離が実働推奨距離に合っていますか？ | ・各本器がもつエネルギー量によって、最大延長が決まっています。10ページの実働推奨距離あるいは高負荷時延長距離を参考に、余裕のある距離で使用してください。 |
| し水没・落雷 | 本器が正常に動作しない。 | ・修理が必要ですので、販売店または弊社へご相談ください。 |

上記のように、電源、漏電、接続を確認した上でも、正常に動作しない場合、まれに本器自体の故障も考えられます。電圧テスターをお持ちの方は、次の手順で本器自体の確認を行ってください。

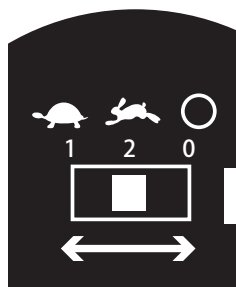
【本器自体の点検方法】

①本器と柵・アースすべての接続をはずします。 ②テスターのアース(地中)へつなぐケーブルを本器のアースケーブルへ、フェンスへつなぐケーブル(フック)を通電ケーブル接続端子へつなぎ、電圧を測ります。 ③10ページの最大電圧に近い数値が出ていれば、本器は正常です。

8. よくある質問

Q.

スイッチを入れても電源が入らない。



素早く動かす

パルススピード(カチッカチツという通電音)が遅くなった。

A.

電池使用の場合、**電池の向き**が間違っているケースがよくあります。3ページを参照に、電池の向きを確認してください。

本器と地表面との距離が近く、**はねかえりの雨水などでスイッチ部に錆**が発生し、接触が悪くなっているケースがあります。スイッチを素早く何度も動かして、錆を落とすことで、電気伝導が回復し、もとに戻ることがあります。同様に、**電池ケース内のバネや端子の錆**が原因のケースもあります。やすりなどで錆を落としてみてください。

電池やバッテリーの残量が少なくなっている可能性があります。単一アルカリ乾電池では、およそ20～25日に1度、交換の必要があります(2ページの「交換のめやす」参照)。電源残量の確認は常に行い、カレンダーに印をつけるなど、定期的に交換をしてください。

9. 製品データ

| | | | |
|-------|-------------------------|----------|---------------|
| 器種名 | AN90／AN90ソーラー／AN90S | 入力 | DC6V／9V／12V |
| 消費電流 | 13/24mA(6V)、7/13mA(12V) | 出力エネルギー | 0.12 J (ジュール) |
| 最大電圧 | 7,500V | 備蓄エネルギー | 0.16 J (ジュール) |
| 本体サイズ | 高さ200mm×直径90mm | 実働推奨距離 | 400m |
| 本体重量 | 0.62Kg | 高負荷時延長距離 | ～200m |

※実働推奨距離は3段張りまでとし、4段張り以上での設置、野生動物の生息圧が高い場所、雑草管理がしにくい場所などでの設置は、高負荷時延長距離を参考にしてください。

※最大電圧値は、実際に計測したときには、使用電源や各電圧測定器(電圧テスター)によって、数百ボルトの誤差を生じる場合があります。

※データ数値は標準値であり、通常±10%の許容差が見込まれます。